

GIGA 校内研修推進リーダー通信

石川県教員総合研修センター

R7.1.6 発行



中学校・高等学校
特別支援学校編

GIGA 校内研修に関する調査(11月実施)より参考になる情報を集めました。様々な校種での事例ですが、それぞれの良い事例をぜひ参考にしてください。

GIGA 校内研修の好事例(効果があった事例)

校内研修の実施方法の工夫

- ・GIGA の通信を使用した短時間研修の実施、年度初めの学級目標づくりに使用できるタブレット端末を用いた授業提案を行った。
- ・GIGA ミニ校内研修(職員会議後)において、ペーパーレス化を目指し、タブレット端末に書き込みができるやり方を、総務課、ICT 支援員を中心に職員全員で練習した。
- ・事前に内容を通知し、必要な方だけ集合してもらうことで、負担感なく学びたいことを学べるようにした。
- ・若プロとして開催することで、若プロの負担感を減らすとともに必要感が高い人が多いので高評価であった。
- ・校内 GIGA 研修も令和4年度から毎年夏休みに開催しています。今までの研修の内容は令和4年度から、ずっとクラスルームの同じクラスの中で、記録として残してあるので、振り返って参考にできます。
- ・少人数のミニ研修を通して、SkyMenu の発表ノートを活用した実践を共有しました。教科や行事にあわせて、内容を検討して活用していくことが大切であると思います。

グループを分けての情報交換会

- ・授業実践の情報交換会では、活用の頻度に応じて3つのグループに分けました。
頻繁に活用しているグループでは、ロイロノートの共有ノートに複数の実践事例を挙げ、活用のヒントになるよう話し合いを行いました。
- ・次に活用しているグループでは、少人数で実践事例を共有し、さらに頻繁に活用しているグループの事例を共有ノートで確認できるようにし、実践の参考にする機会を設けました。
- ・あまり活用が進んでいないグループには、個別に質問を受け付ける場を設けました。

外部講師を活用した研修

- ・令和6年度 GIGAStuDX 推進チームによる研修支援としてオンライン研修を2回設定した。遠隔授業の進め方や遠隔授業の課題を相談できる機会となった。
- ・センター指導主事による町一斉での研修会を実施した。
- ・講師派遣を依頼した研修(同じ特別支援学校の先生の講義・ワークショップ)では、現場の目線で話をしてくれたり、こういう風に使うとこういう効果が期待できるなど分かりやすく進めてくれて、先生方の評判も良く、ICT への抵抗感も和らいだように感じる。



端末スキルの向上

- ・職員研修で「FigJamの使い方」を全職員向けに実施し、公開授業では全教員が何らかの形で「FigJamを活用した授業づくり」に心がけ、研究授業の整理会をFigJamを使って行い、全教員が「FigJamに触る機会」を作った。
- ・ミライシードを使った授業提案や、Canvaの使い方、学習アプリすららの活用方法などが良かった。
- ・オクリンクプラスの活用方法の研修が効果がありました。研修後、実際に使用される方が多かったです。
- ・生成AIの活用例を共有した。
- ・動画編集アプリの基本操作の研修会を実施後、実際に20分ほどの動画を職員全員で少しずつ手分けして作成する取り組みを編集経験のある教員がそれぞれにアドバイスしながら行った。



実践報告の共有

- ・FigJam を活用した、教科の実践方向と学年別の校務 DX の実践報告を行った。
- ・県外の先進校を視察し、その成果を校内研修で共有することで、共通理解につながった。

授業相互参観・授業体験

- ・Google アプリ(スライド、スプレッドシート、ドキュメント)の共同編集の仕方を確認し、授業例を参考に共同編集を活動に組み込んだ授業体験を行った。
- ・学校として10月から12月は互見授業を実施しており、ICTを活用した授業を見せ合っている。またその中でICT活用で効果的だった授業については若プロと連携して情報交換を行っている。
- ・DX 事業と連携してより総合的な探究の時間と情報教育が結びついた授業のありかたを先生方が参観できるようになっている。



校内研修を受けて、教師の変容

- ・自作アプリの使い方や授業への導入の方法について研修を行い、それを実際に活用していただけた。
- ・教員の年齢層が高く、最初から諦めていた人が多かったが、短時間ではあるがソフトの利用方法を、共有できた。